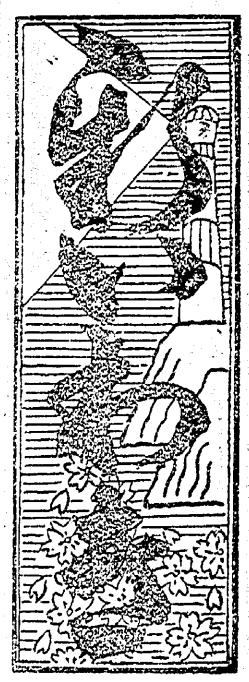
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　昭和十年十月五日〔日刊〕　新いわき　〔土曜日〕第一千五百八十八號

十月四日　夕刊



日曜日ノ外毎日発行
定価一ヶ月二十五錢
郵送料一部二錢
広告料一行四十錢
発行所 福島縣平町大字平字大町二三番地
新いわき新聞社
電話平一番
編輯兼印刷人 中谷孝雄

國道舗装の測量
突如中止引上げ
内務省の既定方針變更か
注目される湯本久の濱間舗装

地方民渇望の平町を中心とする湯本久の濱間の國道六號線舗装案は關係町村長その他の熱心な運動奏効して大体三拾五萬圓程度五ヶ年繼續事業として愈々明十一年度より着工と内定既に仙台土木出張所では專屬技師以下十余名の技術員が來郡四倉町に駐在し久の濱平間の國道實測を開始してゐたが此の程に至り突如として前記駐在測量班一行は實測を中止して仙台に引上げ關係方部民を驚ろかせた此の駐在測量班引上げは内務省當局の既定方針に一大變化を生じ來年度よりの着工計畫に頓座を來たしたのではないかと見られ平、四倉、湯本三町當局を始め沿道各村とも今後の推移に非常な關心を有してゐるが此れに就いて四倉新妻町長は

どんな理由で測量を中止したのか判明しないが本省の既定方針である來年度着工案に變更があつたのではないかと思はれます、折角實現の一歩前まで來たのに今頓座する様な事があつては大變ですから何んとか運動しなければならないかも知れぬ

倘小林平土木監督所長は既に内務省でも國道六號線の舗装案を決定してゐる事であり殊に平、湯本間の國道は全縣下第一の交通量があるので一日も速に舗装の必要がある事は内務當局でも充分諒解してゐる事と思ふ或は東北振興會に計畫が移牒されたので今後は内務省の手を放れ振興會の手でやる様になつたのかも知れない

第二磐炭の濱堀
豫期以上の業績
年産四十萬噸を計畫する工作
憂慮されるは湯本の泉源

需要期に接した石城の各炭鑛は非常な活況で採炭工作を進めてゐるが現在のところ未だ炭價は騰らず年産八十萬噸の磐炭の如きも塊炭平均噸當八圓粉炭四圓五十錢の現狀維持で能率增進に經營利を策し他鑛も通じて目立つた新規計畫はないが水沒の藤原坑(三井)と相携へた第二磐炭は三井の現物出資を七十五萬圓と見るものに磐炭の對等出資（施業費その他）を合せる資本金百五十万圓が豫想以上の業績を上げて東斜坑から現在一千噸の月産を示し來る十一月末か十二月初めに着炭する第二坑が更に一ヶ月二、三千噸の出炭を見込まれて茲に同社は豫定の如く明十一年中に磐炭と合併を見る筈であつて次へで本年末に開坑式を擧げるらしい同坑本坑が圓に當れば盛期に於て年産三、四十萬噸の出炭可能を計畫されてゐる但し本坑の出炭を見る迄には向後四、五年は要するであらう而して水沒の藤原坑に採掘を進めた磐炭は結局現在の水に埋まる區域をも滯水の下部に當る長倉坑から排水を策して採炭工作にかゝるものゝ知くであるが藤原坑から入山採炭の鑛區界に及び次へで緩に掛り好間炭鑛に至る大斷層に緩なしとしない湯本町の温泉にまた新しき受難が來はせぬかと語られてゐる

皇后陛下
の御慶事につき
待醫寮に奉仕
救護看護婦から選抜された
相馬高女出身の和子さん

平町字田町齋藤敏實氏は齋藤別當實歴の後裔で地方に於ける南朝史蹟の研究家として知られてゐるが氏の長女である和子(三五)さんは相馬高女卒後救護看護婦養成所に學び赤十字本社に在勤中である多數同僚の中から今回皇后陛下の御慶事につき宮内省から選まれて待醫寮に奉仕することになつた、之れより先き宮内省では女史に關し身元を精査中であつたもので來る二十一日から待醫寮に移る無上の光榮に齋藤家を擧げて歡泣してゐる

自轉車に衝突
トラック自轉車に衝突
農夫瀕死の重傷
今朝沼の内地内の慘事
事故連出の運轉手

江名町大字江名字北町佐藤文次郎方抱運轉手武藤泰(三)は今四日午前六時頃魚類を滿載したトラック第八百四十四號を運轉平町に向つて疾走中豊間村大字沼の内地内縣道に差しかゝつた際前方から疾走して來た高久村大字神谷作字鶴ケ井居住農鈴木七之助塔上の自轉車と衝突刎ね飛された七之助は右腕付根を自動車の車輪で擦かれ切斷心臓部を強打全身に瀕死の重傷を負つて昏倒直に平町上田病院に昇き込み應急加療中であるが生命は危篤である尚運轉手武藤は去三十日飯野村地内縣道で老婆を轢倒した事故があり同日始めて執務した者である

自稱元郡會議員は
前科六犯の强か者
小名濱吳服店の窃盗犯人
余罪十余件を自白す

去月廿六日夜小名濱町字古港吳服店須藤清次郎方に忍び入り現金五十錢を窃取二度目に忍び込んだ處を發見逮捕された窃盗犯自稱相馬郡駒ヶ嶺村元郡會議員末永明(四五)はその後頑强に口を緘してゐるので指紋を採つて各地に照會身元調査の結果は右は宮城縣亘理郡坂本村大字中濱生れ大工職千尋庄八(四六)が本名で元郡會議員とは眞ッ赤な偽り窃盗前科六犯を有する强か者、夫三

鮫川水利の臨時總會

石城郡鮫川堰では來る七日午前十時から平町關体事務所樓上に臨時總會を開き左記諸件に付き協議の由

図作應急施設農業土木事業施行　組合債及び償還方法
十年度歳入出豫算追加　図作應急施設土木工事施行請負の件等

鈴木部長が五段に
地方劍道會の最高峯
華かなりし十二番斬りの想出

平署の劍道師範で躍進平の立關口平驛構内取締りの巡査部長鈴木忠正氏が今度劍道五段に昇段四日縣廳を經て大日本武德會長鈴木莊六大將の牡丹餅判が押された素晴らしい允許狀が授與された、地方劍道界で五段允許は稀有の事だけに鈴木部長から多年手を取つて教えられてゐた人達が此の機に盛大な祝賀式を擧行しやうと目下奔走してゐる

◇　◇　◇

輝かしい五段の允許狀を手にした鈴木新五段は流石に喜びに包まれて

「此れも皆様のお蔭です」

と云ふ言葉少なに語つてゐた

◇　◇　◇

昨年練士の稱號を許され今また教士格の五段を允許された鈴木部長はまるで竹刀の中から生れた様な人、最も華やかだつたのは大正十五年栃木縣と福島縣の警官武道大會が行はれた時三段で本縣軍の先鋒を承はつた鈴木部長が敵軍の强豪選手先鋒から大將まで十二名を一人殘らず片端から撫で切りにした所謂十二人斬りの物凄い腕を揮つて一人で本縣軍の勝利を摑んだ時で此の十二人斬以來鈴木部長の武名は東北一圓に鳴り響いたものだ

四倉の繭市況
漸落
平均五十七圓六十錢

四倉繭市場に於ける取引は糸價の急落から引續いて漸落を繼續し昨三日は左記の相場であつたなほ同市場秋繭取扱の累計は四千百四貫この總價格二萬五千百四十八圓である

出荷五百五十三貫　最高六十一圓十錢　最低五十四圓
平均五十七圓六十錢

舉動不審男
今曉檢擧
コソ泥自白

今四日午前四時半頃平町南町地内を徘徊してゐる舉動不審の男を平署の柏木刑事が發見本署に引致取調ると此の男は當時住所不定無職信夫郡野田村生れ佐藤順三(三七)と自稱し前夜鹿島村大字矢田農高橋登方に忍び入り現金一圓五十錢在中の豪口一ヶを窃取逃走して來た事を自白したが取調を續けた結果外十數件のコソ泥餘罪をも自白した

御會葬御禮

昭和十年十月四日

男　堀江正茂
外親戚一同

雷雨

チー、ケー、オーはテクニカル、ノック、アウトの頭字をとつた略語でテクニカル、ノック、アウトは拳闘用語で双方の技術に格段の相違を示し最早問題でない場合の勝敗決定

近所合壁から憎まれ者の湯本町の材木屋兼製材工場主矢吹親子が數年を通じて常置的に國道を使用してゐる横暴を佐竹道路助手に叱責された逆さ怨みに袋叩きにした事件は愈よ訴訟沙汰となつて▲町内の雀や烏にまで小氣味よく云ひ觸らされてゐるが町一番の税金を納めてゐるとやらで威張りくさる矢吹親子も自分の思ふまゝになる縣會議員があるからお前の様なものは首を馘つて終ふと力んだ勢ひが何所へ飛んでしまつたのか▲はじめて目が曜めたのではない斯う云ふ手段の常習手段である自分に不利と見ると急に態度を變へて小林土木所長の所へペコ〳〵頭を下げたり警察では眞に非をさとつた様に見せかけてゐるが▲矢吹は合て町會議員もした男で國道を我が物顔に使つて交通を妨害してよいか惡いか知らぬ程の馬鹿ではない相手が强いと見ての手段である何んでも彼でも金の力で自由になる縣議と代議士とかの政治屋なんかもどうせ大したものではない俺の金の力でどうにもなるんだと云つてゐる舌の根がまだ乾きません▲こんな奴は後の爲めになりませんからどうか適當に處置して頂きます（湯本町雀より）

鄕土史抄

故濟先生の遺影を偲ぶ　四

（瀧川家の史料採訪）　鮫川漁史

茨城　西丸亮
東京　山田時幸
〃　小野湖山
〃　山口貢
〃　山寺清次郎
〃　大脇英之助
仙台　太田三橋
東京　奥並繼
〃　大原武慶
〃　若松八彌
〃　大江孝之
〃　敬香
〃　織田完之
伯耆　蓮前美代吉
東京　横山砂
〃　石坂周造
磐城　西村光武
東京　伊丹重賢
宮城　大澤景美
磐城　影山正博
三河　及部幸吉
東京　石川鵬齋
〃　岡村增太郎
〃　大平憲太郎
〃　奥谷貞次
大阪　山田信道
磐城　新井茂助
東京　青柳松男
〃　奥田格
〃　大澤定藏
泉州　天野六郎平
東京　岡鹿門
仙台カ　磐山
東京　石井貞吉
〃　秋元金一郎
水戸　朝貞二男
東京　奥山勝次
福島　日下義雄
東京　川崎潮
常陸　糟谷慎吾
東京　河村惇
〃　幸島又四郎
上總　加藤次郎

長崎　近藤昂藏
丸龜　同熊雷
太田　川上直右衛門
磐城　郡司佐十郎
小樽　神谷健藏
播磨　加藤經之
仙台　川目亨一
〃　松木敎意
〃　小笠原弼

カニ石鹼
嚴密なる注意を以つて原料を精選するが故
泡立に……芳香に……量に……總て理想的優良品です
1ケ…10錢　1ダース…1圓　●純マルセール石鹼1ケ…10錢●
ヤルツ　平四一四〇

しづかに食事の出來る
正しい酒場
正しい喫茶
正しい食堂
平田町　レストラン　サロン　電三五二

債券公債両替金融
多田井貿店
平町大工町　電話五九一番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、總齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントケン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

便利で經濟な日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御敎授致します
平町字田町十八番地（西村屋横町）
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話（呼）一八九番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

喧々好評
たる各種優秀藥
大衆酵母劑　カタレー（三十三日分）定價一圓五錢
強力驅毒劑　スピロイン（定價二圓五圓十圓）
平町五丁目角
特約販賣店　山野邊藥局

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）　西村屋藥舗　（電3）

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は　三一三屋　平町田町

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町　電三〇七
平看護婦會
會長　清野キヨ
經濟的な御便宜ご用命をお願致升
御手不足の御家庭輕い御病人の付添姙婦産婦の御家庭

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

ガソリン　モビール油
日本石油株式會社　特約販賣
油問屋　關内油店
磐城平　電話長16
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

洋服は高島屋
注文並に既製品
秋物▽　入荷▽
高島屋洋服店
平町二丁目　電話三八六

（磐城共濟病院）　福島縣平町電六四一
內科　院長　醫學博士　石山謙郎　（電話六四一番）
小兒科　部長　手醫學士　佐藤尙輔
産婦人科　部長　醫學士　黑澤廣
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　大町久藏
皮膚泌尿器病科花柳病科　部長　醫學士　前澤正（電話二七二番）
X線科　醫學博士　石山謙彦
物療科　技術員　石山孝平
藥局　藥劑師　吉本孝雄
事務長　鈴木寶
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
●…病室完備…入院隨意…●

鼻の諸病に快鼻湯　有効保證
本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に內服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から參つて居ります
効能　蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の賞讃を受く
（快鼻湯）製劑販賣元　水野藥局
磐城平町一丁目（電話六九九番）振替口座仙台（八八七六番）